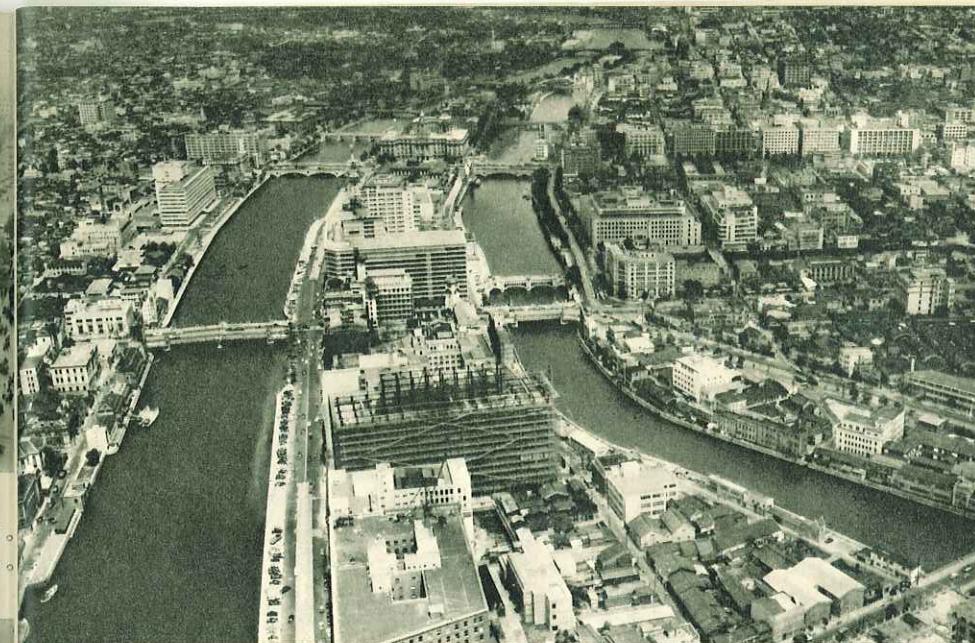


大阪

大阪の歴史は遠く難波・津にはじまるが、商都として目ざましい発展をしたのは近世になつてからである。蓮如の石山本願寺と秀吉の大坂城築城、徳川幕府の自由都市化と藏屋敷の設置は、大阪町人が「天下の台所」をにぎり、独自の町人文化を発達させた基盤である。現在、人口二八七万人。煙の都・水の都といわれ、たくましい庶民のまちである。

大阪駅前付近 [112]

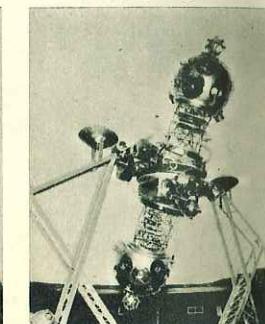
中之島付近手前より大ビル・新朝日ビル・日銀・市庁・公園 [111]

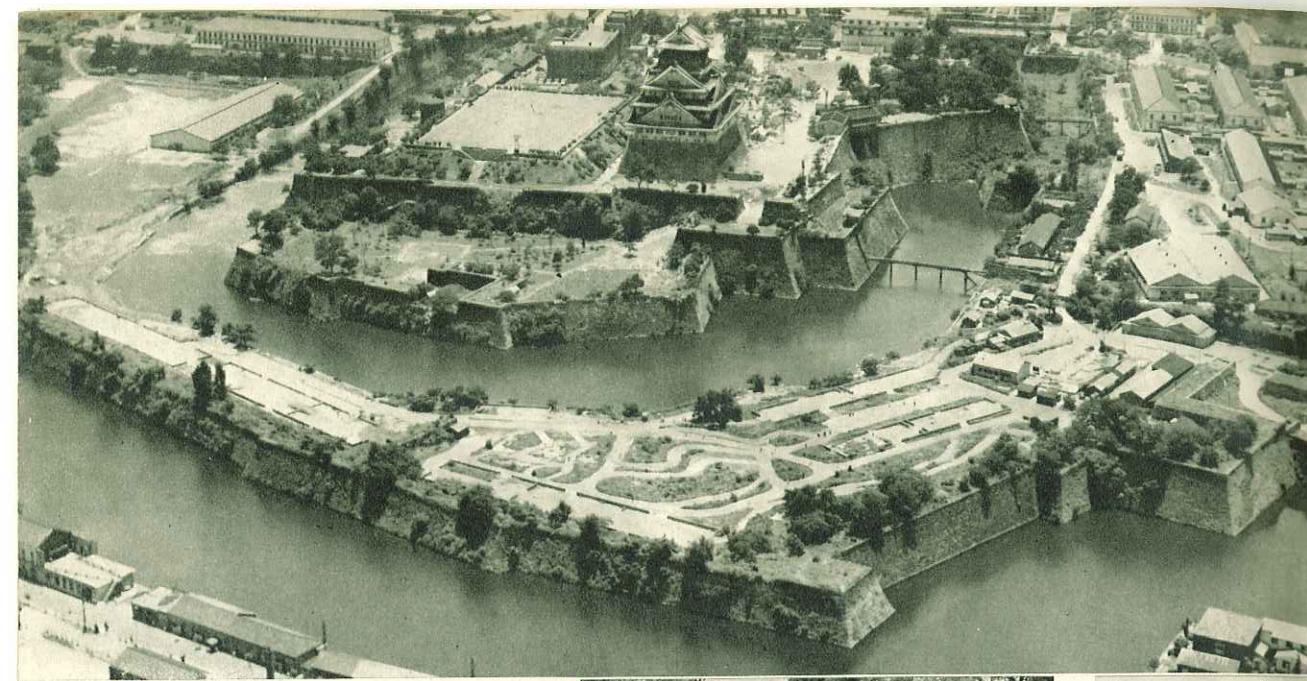


大阪港(中上・天保山) [113]



空から見た
“みなみ”付近 [117]
御堂筋(左・歌舞伎座) [114]
電気科学館 [116] とプラネタリウム(右) [115]





大阪城全景 [122]

太閤(秀吉)さんは大阪発展の恩人である。大阪城ははじめ秀吉が1583年に築城した。その城も冬の陣で堀を埋められ、夏の陣で焼かれ、家光が再建したのも焼失して、今のは大阪市民が天正の姿を復原して1931年に建てた鉄筋コンクリート造りである。城内には巨石が多い。教育塔は教育に殉じた関係者や災害に死んだ生徒・児童の慰靈碑。

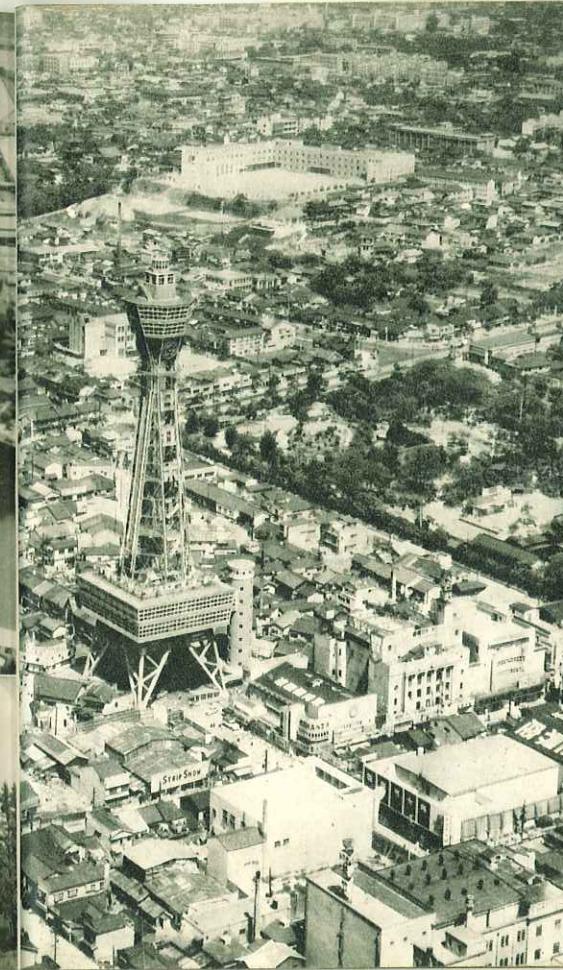
大阪城



城内の巨石(鷹石) [124]



教育塔 [123]



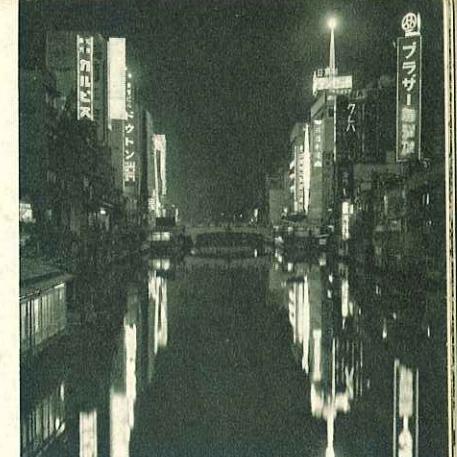
通天閣(右・天王寺公園) [121]

四天王寺 [120]

してんのう

大阪の盛り場は南と北(梅田付近)である。デパートの発達も日本一ならぬ店の数も「食いだおれ」の名に恥じないほど。新世界には通天閣が建ち、聖徳太子が五十九三年に建てたわが国最古の寺院四天王寺も再建され、ミナミの中心は道頓堀から心斎橋筋・千日前・新世界へ拡がつた。

みなみ



心斎橋筋 [119]

道頓堀夜景 [118]

